熊野町

第６次熊野町総合計画等に関する住民意識調査

≪町民のみなさまの声をまちづくりに活かすためのアンケートにご協力をお願いします≫

日頃から町政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本町では、目指すべき本町の将来像を描き、その実現に向けて実施する施策や事業の体系を示す「第６次熊野町総合計画」（令和３年度～令和 12 年度）を策定し、取組を進めております。

このアンケート調査は、第６次熊野町総合計画の前期計画（令和３年度～令和７年度）の中間年度にあたる令和５年度に、町民のみなさまが本町の取組について感じていることや、生活の実態、問題意識等をお尋ねすることで、現状を把握し今後のまちづくりに反映させるための貴重な資料とさせていただくことを目的に実施するものです。

本調査は 18 歳以上の町内居住者の中から、地域、年齢層ごとに配布数を定め、無作為に抽出した方に無記名での回答をお願いしています。また、調査の結果は統計的に処理し、個人を特定することやまちづくり施策への活用以外に使用することはありません。

お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解の上、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

令和５年８月

熊野町長　三村　裕史

記入に当たってのお願い

1．ご回答は、宛名のご本人がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。

2．ご回答は設問ごとの指示に従い、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的な内容をご記入ください。

3．選択する答えの数は、「１つに○」「あてはまるものに○、複数可」など選び方が指定されていますので、設問をよく読んでお間違いのないよう注意してお答えください。

4．ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに**令和５年８月２３日（水）**までに郵便ポストにご投函ください。

<お問い合わせ先>

熊野町総務部政策企画課

熊野町中溝一丁目１番１号

TEL:082-820-5634

FAX:082-854-8009

ご協力お願いします！

熊野町
観光 PR キャラクター
「ふでりん」

総合計画って・・・なに

総合計画とは、
熊野町のまちづくりの理念や将来像、また、それを達成するための方法を明らかにしたもので、熊野町における総合的で計画的な地域づくりの運営をするための指針です。

まちづくりの計画は、
子育てや高齢者など、いろいろあると思うけど・・・？

町では、たくさんの取組をきちんと進められるよう、様々な分野の個別計画をつくっています。
総合計画はそれらの最も上位に位置づけられる計画なんです。

すごく大事な計画なのね！
じゃあ、このアンケートはとても大事なものなのね！

そうなんです！
熊野町が、これからどのような取組に力を入れたら良いのか、みなさんの素直な声を是非お聞かせください！！

熊野町では、みなさまの意見を大切にしながら、町の取組を進めていきます。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. あなた自身のことや住まいについて

問1　あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

1．男性	2．女性	3．その他

問2　あなたの満年齢をお答えください。（1つに○）

1．10 歳代	2．20 歳代	3．30 歳代	4．40 歳代
5．50 歳代	6．60 歳代	7．70 歳代	8．80 歳以上

問3　あなたの世帯構成をお答えください。（1つに○）

1．ひとり暮らし	2．夫婦のみ	3．親と子の二世代
4．親・子・孫の三世代	5．その他（　　）	

問4　あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。（1つに○）

1．農林業	2．自営業・家族従業員	3．会社員
4．公務員・団体職員	5．パート・アルバイトなど	6．専業主婦・主夫
7．無職	8．学生	9．その他（　　）

問5　今の場所にどのくらいお住まいですか。（1つに○）

1．５年未満	2．５～９年	3．10～19 年
4．20 年以上		

問6　あなたの住まいが属する地区（大字）はどこですか。（1つに○）

1．呉地	2．出来庭	3．中溝	4．萩原
5．城之堀	6．初神	7．新宮	8．川角
9．平谷	10．貴船	11．石神	12．神田
13．柿迫	14．東山		

問7　熊野町への転入・転出についてお聞きします。（1つに○）

1．町外に出たことがない	2．町外に出てから戻ってきた（Ｕターン）
3．他市町村から転入してきた（町外出身）	

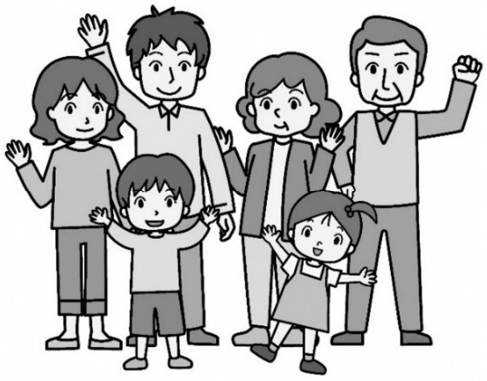
2. 熊野町の現在のまちづくりについて

問8　次にあげる町の基本施策について、現在、どの程度満足していますか。また、あなたの「今」、あるいは「これから」の生活にとって、どのくらい重要ですか。以下に示す項目について、あなたの気持ちに最も近い番号を選び、○印をつけてください。

（各項目1つに○）

①満足度の１～５の中から１つに○ ②重要度の１～５の中から１つに○ をつけてください。		①満足度					②重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
番号に○をつけてください。⇒（例）		(1)	2	3	4	5	(1)	2	3	4	5
保健・医療・福祉	1．健康づくりの支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2．医療体制・医療サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3．子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4．高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5．障害者福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	6．人権が尊重された社会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7．男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8．青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9．生涯学習・スポーツ活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10．学校施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11．学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12．伝統文化の継承と振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境	13．防犯・交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14．ごみの発生抑制・再利用・再資源化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15．空き家・荒地対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16．自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤	17．良好な住環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18．公共施設のバリアフリーの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19．道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20．路線バスの利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21．公園や広場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

①満足度の１～５の中から１つに○ ②重要度の１～５の中から１つに○ をつけてください。		①満足度					②重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
番号に○をつけてください。⇒（例）		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災・減災	22. 消防・救急救助体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 地震・風水害などの防災・減災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 避難喚起・避難所誘導体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 防災教育への取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業	26. 地域産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 商業施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 農林業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. 熊野筆のブランド戦略	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 雇用対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 企業誘致の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
参画・行政運営	33. 住民と行政の協働のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. ボランティア・地域活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 町からの情報発信（量・内容・手段）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36. 町の行政・財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37. デジタル化への取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



問 9～問 20 までは、分野別にお聞きします。

問9　あなたは保健・医療・福祉の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援
2．出産や子育てに関する相談体制の充実
3．こども医療費助成などの充実
4．虐待防止対策の充実
5．国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営
6．夜間・休日診療や救急医療体制の充実
7．感染症対策の充実
8．保育園での多様な保育サービスの充実
9．児童クラブなど学童保育の充実
10．ひとり親家庭に対する支援
11．生活困窮家庭への支援
12．障害者への各種サービスの充実
13．介護サービスや介護予防事業の充実
14．高齢者や障害者の移動手段の確保
15．高齢者の生きがいづくりや社会参加の場の確保
16．住民同士が支え合う地域福祉活動への支援
17．その他（　　）

問10　あなたは教育・文化の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．子どもの基礎学力の向上
2．書写書道教育
3．道徳教育の充実
4．情報教育の充実
5．いじめ、不登校対策の充実
6．障害児教育の充実
7．教員の資質の向上
8．地域と連携した学校運営（開かれた学校づくり）
9．学校施設の改修・整備
10．伝統文化の保存継承と振興
11．青少年の健全育成
12．幼児教育の充実
13．生涯を通じた学びの場の充実
14．生涯スポーツの推進
15．図書館資料の充実
16．その他（　　）

問11　あなたは都市基盤や生活環境などの分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．にぎわいの場の整備
2．狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備
3．バス等移動交通手段の確保
4．美しいまち並みの保存・形成や里山・水辺の整備
5．情報化社会の進展に対応できる情報通信基盤の整備
6．公共施設などのバリアフリー化の推進
7．身近な公園や緑地の整備
8．交通安全・防犯対策の推進
9．自然環境の保全
10．地球温暖化対策の推進
11．ごみの減量化やリサイクルの推進
12．消費者保護施策の推進
13．その他（　　）

問12　地震や大雨などの災害に対して、特に不安に思うことは何ですか。（あてはまるものに○、複数可）

1．大地震により建物・家屋が倒壊すること
2．大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと
3．災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること
4．災害発生時にどこに避難すれば良いか（指定避難場所）がわからないこと
5．災害発生時に避難所までの安全・確実な経路がない（わからない）こと
6．災害発生時に避難所が遠く、または、移動手段がなく、避難所まで行けないこと
7．災害発生時における家族との連絡（安否確認など）方法のこと
8．災害発生時に家族の中に一人で避難行動が取れない人がいること（ご本人含む）
9．避難時の呼びかけや助け合いなど、地域のつながりが希薄なこと
10．普段生活している場所の危険性がわからないこと
11．警戒レベルなどの避難情報で使われる用語がわからないこと
12．避難のタイミングがわからないこと
13．避難所の受け入れ環境（高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの要配慮者、ペット同伴などの対応）
14．避難所での食事のこと
15．その他（具体的に：　　）
16．特に不安はない

問13　ご家庭で、日頃からどのような防災・減災対策に取り組まれていますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．非常用持ち出し袋の準備	2．食料・水などの備蓄
3．家具の固定（地震対策）	4．普段生活している場所の危険箇所の把握
5．スマートフォン等での防災情報の収集	6．家族間での連絡方法や避難場所の確認
7．防災に関する訓練や講座などへの参加	8．近隣住民とのコミュニケーション強化
9．その他（　　）	10．特に何もしていない

問14　あなたは防災・減災の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．災害時における確実な情報伝達手段の確保・充実
2．自主防災組織など地域での防災体制の構築や、活動支援
3．防災訓練や防災教育・講座など住民の防災意識を高めること
4．地域の危険箇所や過去の大災害の事例、避難所・避難ルートの周知
5．緊急車両の通行や安全に避難できる道路の整備
6．排水路の整備や、ため池の改修・補強
7．避難所受け入れ環境の整備（高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの要配慮者、ペット同伴などの対応）
8．自治会館、各地区の集会所、大型店舗駐車場等の一時避難所としての活用
9．その他（　　）

問15　あなたは産業の振興に向けて、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．企業誘致の取組など新たな産業の振興	2．新規就農者の育成や荒廃農地対策
3．農商工業の連携による地産地消の振興	4．筆職人の後継者育成の支援
5．熊野筆の PR やブランド戦略の推進	6．筆の里工房などの筆文化事業の振興
7．地元商店の活性化	8．特産品の開発
9．商工会・筆組合への支援や連携	10．その他（　　）

問16　あなたは、地域活動やボランティア活動、協働のまちづくりに参加したいと思いますか。（1つに○）

1．参加したい	2．現在、参加している
3．参加したくない	4．興味はあるが、参加できない

※ 問 16 で「1．参加したい」「2．現在、参加している」を選択した方におうかがいします。

問17　どんな分野に参加したいですか。また、参加していますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．子育て支援活動、青少年の健全育成活動	2．高齢者・障害者の支援活動
3．健康づくり活動、ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動	4．観光交流に関する活動
5．交通安全・防犯・防災活動	6．まちの美化活動、自然保護活動
7．地域の伝統・文化の継承活動	8．地域の行事、自治会の活動
9．まちづくりに関するワークショップなど	10．その他（　　）

問18　あなたが地域活動や協働のまちづくりに参加しやすくなるためには何が必要だと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．参加する時間の確保	2．NPO やボランティア等の活動情報
3．機材や活動資金の確保	4．活動を必要とする人や施設の情報
5．活動に関する研修や専門家の助言	6．活動を体験できる場や参加する機会の確保
7．活動のための事務所や会合場所の確保	8．活動中の事故への補償制度
9．一緒に活動する仲間の確保	10．地域活動への職場等の理解
11．団体同士の情報共有・ネットワークづくり	12．その他（　　）

問19　あなたは、行政運営について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．住民ニーズの定期的把握と施策への反映	2．住民と行政の協働のまちづくり
3．行政情報の公開	4．健全な財政運営
5．近隣市町との広域的な連携の推進	6．情報化による行政サービスの充実
7．職員の資質向上	8．その他（　　）

問20　あなたは、熊野町が行うデジタル化の取組について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．いつでもどこでも届出や申請ができる（オンライン申請）
2．オンラインで施設利用状況の確認や予約ができる（施設予約システム）
3．スマホなどから相談や講座などへの参加ができる（オンライン・チャット相談）
4．キャッシュレスで税金や手数料・利用料などの支払いができる（キャッシュレス）
5．窓口での手続時に申請書などを書かなくて良い（書かない窓口）
6．届出や申請に必要な添付書類が減る（情報連携）
7．知りたい情報が簡単な操作でいつでも手に入る（チャットボット）
8．行政が保有するデータを加工・利用できる（オープンデータ活用）
9．災害や事故などの発生時に被害や状況等の情報共有ができる（情報共有）
10．デジタルに関する不安や悩みを相談できる（デジタルデバイド対策）
11．公共 Wi-Fi が整備されて行政や地域とのつながりの接点になる（公共 Wi-Fi）
12．困りごとと助けたい人をデジタル技術を活用して結びつける仕組みづくり（シェアリング）
13．その他（　　）

3. まちの住みやすさについて

問21　あなたは、熊野町の住みやすさについてどのように思われますか。（1つに○）

1．住みやすい	2．どちらかといえば住みやすい
3．どちらともいえない	4．どちらかといえば住みにくい
5．住みにくい	

問22　あなたは、今後も熊野町に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

1．住み続けたい	2．当分は住みたい
3．どちらともいえない	4．どちらかといえば住みたくない
5．住みたくない	

※ 問 22 で「1. 住み続けたい」「2. 当分は住みたい」を選択した方におうかがいします。

問23　その理由は何ですか。（あてはまるものに○、複数可）

1．道路、交通の便が良いから	2．通勤、通学に便利だから
3．福祉や医療が充実しているから	4．子育て・教育環境が良いから
5．買い物などの日常生活が便利だから	6．娯楽・憩いの場があるから
7．働く場があるから	8．地域での人間関係が良いから
9．土砂災害警戒区域等に指定されていないから	10．持ち家だから
11．家族・知人がいるなど縁があるから	12．その他（　　）

◎土砂災害警戒区域等とは、広島県が指定した土砂災害の恐れがある区域のことです。

※ 問 22 で「4.どちらかといえば住みたくない」「5.住みたくない」を選択した方におうかがいします。

問24　その理由は何ですか。（あてはまるものに○、複数可）

1．道路、交通の便が悪いから	2．通勤、通学に不便だから
3．福祉や医療が不十分だから	4．子育て・教育環境が良くないから
5．買い物などの日常生活が不便だから	6．娯楽・憩いの場がない（少ない）から
7．働く場がない（少ない）から	8．地域での人間関係が良くないから
9．土砂災害警戒区域等に指定されているから	10．借家だから
11．家族・知人がおらず、縁がないから	12．その他（　　）

◎土砂災害警戒区域等とは、広島県が指定した土砂災害の恐れがある区域のことです。

問25　あなたは、熊野町に愛着を持っていますか。（1つに○）

1．愛着がある	2．やや愛着がある	3．どちらともいえない
4．あまり愛着がない	5．愛着がない	

4. 今後のまちづくりについて

問26　あなたは、将来に対して、どのようなことが不安ですか。（あてはまるものに○、複数可）

1．あなたや家族の健康	2．仕事や雇用のこと
3．あなたや家族の介護	4．老後の暮らし
5．子どもを産み育てること	6．高齢化による地域の衰退
7．治安の悪化	8．バス等移動交通手段
9．風水害や地震などの自然災害	10．地域でのつきあい
11．不安に思うことはない	12．その他（　　）

問27　あなたは、熊野町のこれからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことは何だと思われますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．熊野の歴史・文化・産業	2．広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件
3．田園風景や自然環境	4．熊野筆
5．多様な人材	6．コミュニティ活動
7．祭りや伝統行事、イベント	8．生涯学習や健康づくりへの関心
9．文化・スポーツ施設や公共施設等	10．その他（　　）

問28　あなたは熊野町の活性化には、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）
2．県外、他市町村から熊野町を訪れる人が増えること（交流人口の増）
3．熊野町に関心を持ち、応援してくれる人が増えること（関係人口の増）
4．企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること
5．住民があらゆる分野でいきいきと活動していること
6．子どもを産み育てやすいまちであること
7．熊野筆を生かした個性的なまちであること
8．その他（　　）

問29　今後の熊野町の人口減少対策として、町外、県外から若い人を呼び込むためにどのような対策が重要だと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．若者の「出会いと結婚」の機会づくり
2．保育サービス等の充実
3．子育てのための経済的負担の軽減
4．若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出
5．休日・夜間の若者向けの講座・スポーツ・イベント等の余暇活動の充実
6．熊野町の PR を目的とした情報発信
7．おしゃれな魅力あるまち並みや景観等に配慮した住環境の整備
8．その他（具体的に：　　）

問30　あなたが思う熊野町の良いところ、自慢できること・ものは何ですか。（自由記述）

問31　あなたは、熊野町が将来どのようなまちであれば良いと思いますか。（あてはまるものに○、複数可）

1．筆産業など産業が活発な活気あるまち
2．自然や田園風景を大切にした緑豊かで潤いのあるまち
3．伝統や歴史を生かした個性あるまち
4．魅力ある商業施設や身近に商店のある買い物に便利なまち
5．子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち
6．芸術・文化活動が活発な文化の香り高いまち
7．快適な生活環境が整ったまち
8．ふれあいや連帯感がある心やさしいまち
9．犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち
10．保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち
11．多くの人が訪れる観光・交流が活発なまち
12．まち並みと田園空間が調和した美しいまち
13．道路や交通機関が整備された交通の便の良いまち
14．コミュニティ活動が盛んで、まちづくりへの住民参画が活発なまち
15．その他（　　）

問32　これからの熊野町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので、自由に記入してください。（自由記述）

以上で
アンケートは
終わりです！

ご協力、
ありがとう
ございました！

～アンケートへのご協力、ありがとうございました～

ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに、**8月23日（水）**までに郵便ポストにご投函ください。